

会 議 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市福祉有償運送運営協議会
2 開催日時	平成29年5月24日（水曜日） 午前10時00分から午前11時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 松本委員長 竹村委員 米山委員 野村委員 伊丹委員 小川委員 久住委員 馬場委員 平石委員 金子委員 大塚委員 小村委員</p> <p>(代理出席) 土屋博司氏（土屋副委員長代理）</p> <p>(実施団体) NPO法人 夢ながおか NPO法人 ドリーム NPO法人 長岡医療と福祉の里ボランティア連合会</p> <p>(事務局) 星福祉総務課長ほか関係職員 長谷川福祉課長ほか関係職員 横山長寿はつらつ課長ほか関係職員 山本交通政策課長ほか関係職員</p>
5 欠席者名	(委員) 土屋副委員長 杉野委員 土田委員
6 次第	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 委員・事務局紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 報告様式の変更について</p> <p>(2) 実施団体からの報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">① 平成28年度運行状況</p> <p style="padding-left: 20px;">② 登録事項等の変更</p> <p>(3) 更新登録について</p> <p>(4) その他</p> <p>5 閉会</p>

議 事 概 要

(1) 報告様式の変更について

福祉総務課長説明

説明内容

事務局	長岡市独自で定めている様式を全面的に見直した。 ポイントは、事業運営状況をより協議会で把握しやすくすること、個別様式の統合化による提出書類の削減、事業者負担の軽減を図ることである。
-----	---

質疑応答

委員	年齢が75歳以上の方は運転者になれないのか。
事務局	75歳を超える方は運転者の登録はできない。

事務局の案のとおり長岡市様式が決定

(2) 実施団体からの報告について

- ① 平成28年度運行状況
- ② 登録事項等の変更

NPO法人夢ながおか報告

質疑なし

NPO法人ドリーム報告

質疑応答

委員	輸送依頼があり、対応できない場合は、どのようなフォローなどを行っているのか。
実施団体	依頼については、可能な限り受けている。会員の場合は、必ず受けるようにして、会員から病院に行く時間を調整してもらったりしている。

NPO法人長岡医療と福祉の里ボランティア連合会報告

発言内容

実施団体	平成29年3月31日をもって、当団体は福祉有償運送を廃止する。 廃止する大きな理由は、運転者の不足である。どうしても運転者の補充ができなかった。
------	---

質疑なし

(3) 更新登録について

NPO法人夢なおか説明

質疑なし

NPO法人夢なおかの更新登録について承認

NPO法人ドリーム説明

質疑なし

NPO法人ドリームの更新登録について承認

(4) その他

発言内容

委員	<p>福祉デマンドネットワーク研究会が実施している透析患者の送迎事業は、国から大変高い評価をいただいている。</p> <p>しかし、透析患者の通院困難者がかなりの勢いで増加していることについては、十分な手当ができず、個人の負担が多くなっているのが現実である。</p>
委員	<p>いま待ったなしで交通弱者が増えている状況で、何ができるかという提言機関をこの協議会から発展していければ、価値のある会議になると思う。</p> <p>タクシーにみんなで乗れる方式をどのようにコーディネートしていくか、これがこれからタクシーの生き残る道ではないか。</p>
委員	<p>実施団体は、無理をして頑張っておられるが、全国的にNPO法人の送迎事業は、送迎だけではできず、やめていかれる状態である。</p> <p>そこで、昼間のタクシーを利用できないか、また地域や業者に合った運行方法を考えていたらとお願いをしている。協議会も一歩進み、実態を踏まえた協議会になるとより力強い。</p>
委員	<p>運転手の確保が大変であるが、交通産業も人手不足である。将来的にも、働く者の人口が減ることが予測される。</p> <p>高額な人件費を支払うのは無理だと思うが、利用者は年々増えてくる。そうなる、運転手の確保は喫緊の課題であるので、この協議会でも考える必要があると思う。</p>